

Vol. 69 No. 22 (2025-26)

2026 (令和 8) 年 2 月 19 日 発行

2025-26 年度 第 2650 地区 基本方針

未来へつなぐ

創立 昭和 32 年 4 月 19 日
会長 河村 善一
会長エレクト 中谷 昌紀
副会長 安永 吉伸
幹事 仲谷 登
公共イメージ 西尾 兆司

友よ～ この先もずっと・・・

2025-26 年度 榎原ロータリークラブ クラブテーマ

【事務局】

榎原市久米町 926 奈良県薬業会館内
TEL : 0744-25-3986
FAX : 0744-25-3985
E-mail: krc@jeans.ocn.ne.jp

【例会日】

金曜日 12 時 30 分～13 時 30 分
榎原市久米町 934 榎原神宮 養正殿
TEL : 0744-26-2789 (代表)

2月は、「平和と紛争予防／紛争解決月間」 (Peace and Conflict Prevention/Resolution Month)です。

第 3246 回例会報告書

2026 (令和 8) 年 2 月 6 日

司会 副 SAA・西川貴康会員
R.song 君が代・奉仕の理想
ソング・リーダー 西峯 恵会員

会長挨拶

○本日は理事会があり、協議事項に 2 点挙げられました。1 点は 4 月 10 日の郡山安積 RC との合同夜間例会の件です。郡山安積 RC の皆様は 4 月 9 日に奈良にお越しになり、奈良市を観光され、10 日に当クラブとの夜間例会にお越しになり、11 日には吉野の桜をご覧になる予定だそうです。昨年、我々が郡山安積 RC を訪問した際は盛大な歓迎を受けましたので、我々としても「訪問して良かった」と思っているような例会を開催したいと思ひ、親睦活動委員会を中心に計画を練っているところです。もう 1 点は 4 月 25 日 (土) ～26 日 (日) に開催の泊例会 (グランピング) の件です。親睦活動委員会を中心に視察を行い、三重県や兵庫県に行きましたが、最適な場所がやっと見つかりました。最適な場所は黒滝村でした。お近くにお住まいの方もいらっしゃいますが、日々の喧騒を離れ、お過ごし頂ければと思います。宿泊が難しい方には日帰りのプランもご用意する予定です。まだまだ計画段階ですが、楽しみにして頂ければと思います。3 月には地区補助金事業のダンスコンテスト「大和舞踊祭」もあり、3 月、4 月は行事が目白押しです。全員参加で一人一人が役割を果たして頂くことが、一人一人の楽しみや友を作っていくことに繋がっていくと思ひますので、是非とも皆様のご協力をよろしく願ひ致します。

2 月のロータリーの月間テーマは「平和と紛争予防／紛争解決月間」です。ロシアとウクライナの紛争も 3 年が経ち、過去のことのような感覚になりますが、いまだに紛争は続いています。我々としては、これを過去のことにしないことをこの月間に考えていくことが必要ではないかと思ひます。平和があつてこそその友情、楽しさだと思ひますので、平和を希求していく月間にしたいと思ひております。本日もよろしく願ひ致します。



ゲスト

卓話講師：関西大学 前学長 楠見晴重氏

出席報告

会員 50 名
(2/6) 出席者 32 名、MU6 名、出席率 82.61%
(1/23 補正) " 36 名、" 1 名、" 80.43%

ニコニコ箱

- ◎今年の大寒修行も無事に満願いたしました。
.....辻田真海会員
◎誕生日お祝い
山田善紀会員 (2/10) 尾上隆志会員 (2/26)
◎結婚記念日お祝い
米田常彦会員 (2/3)
◎入会お祝い
井上輝好会員 (25 年)



幹事報告

△2月誕生日

山田善紀会員 (2/10) 関 俊昭会員 (2/14)

尾上隆志会員 (2/26)

△2月結婚記念日

米田常彦会員 (2/3)

△2月入会

井上輝好会員 (25年)

△米山奨学生ディミトロヴァ・ラダ・ラレヴァさんに奨学金の授与



△米山記念奨学会及びロータリー日本財団より、確定申告用寄付金領収証が届いていますのでポスティングしています。領収証は原則として再発行されませんので、確定申告時まで大切に保管頂きますようよろしくお願い致します。

△次週2月13日(金)は休会、次回の例会は2月19日(木)やまとまほろばRCとの合同夜間例会で、養正殿にて18時開会となります。なお、やまとまほろばRCがホストとなりますので、2月19日の木曜日の開催となります。お間違えのないようよろしくお願い致します。

△地区より「ロータリー希望の風」奨学金のレポート「風の便り」 ※詳細は掲示板にて。

△例会変更ほか(詳細は掲示板にて)

・奈良大宮 RC

①3月31日(火) 家族親睦例会のため変更

→3月29日(日) 12:00~於: ノボテル奈良

※ビジター受付は3月31日(火) 17:00~17:30まで、ノボテル奈良2階にて。

②3月17日(火)・24日(火) 休会

※ビジター受付は当日17:00~17:30まで、ノボテル奈良2階にて。

・桜井 RC

①2月24日(火)・3月17日(火) 休会

②3月3日(火) 聖林寺にて移動例会

③3月31日(火) 桜例会で移動例会

※いずれもビジター受付なし。



卓話

担当: プログラム委員会

講師: 関西大学 前学長 楠見晴重氏



「関西大学における リスクマネジメント」

関西大学は、1886年(明治19年)に大阪・京町堀の地で「関西法律学校」として創立された。以来、「学の実化」を建学の精神とし、社会の要請に応え続けながら発展を遂げてきた。1905年に私立関西大学と改称し、1922年には大学令による正式な大学として認可を受けた。戦後の新制大学への移行、大学院の整備を経て、現在では14学部、13大学院研究科、専門職大学院を擁する総合大学となっている。年間約3万6千人が学ぶ本学は、もはや一つの「都市」とも言える規模であり、その運営においてリスクマネジメントは不可欠な課題である。

大学を取り巻くリスクは、大規模地震などの自然災害にとどまらず、事件・事故、感染症、情報セキュリティ、海外での危機事象など多岐にわたる。こうした状況を踏まえ、本学では2007年から「安全・安心な学園づくり」を掲げ、全学的な危機管理体制の構築に取り組んできた。その象徴的な取り組みが、2010年に開設した社会安全学部・社会安全研究科である。教育・研究と実践の両面から安全・安心を追究する体制を整えた。

危機管理体制の中核をなすのが「リスクマネージャー制度」である。これは、役職の肩書に依存せず、知識・技能・経験を備えた人材を計画的に育成・配置する仕組みである。平常時には規程やマニュアルの整備、訓練や啓発活動を担い、緊急時には対策本部の立ち上げや初動対応を担う。さらに事後には検証と見直しを行い、次に備える。この循環を継続することこそが、組織としての危機対応力を高める鍵である。

こうした体制の実効性を検証する場として、本学独自の取り組みが「関大防災Day」である。約1万人の学生・教職員、さらに地域住民も参加する大規模な防災啓発行事であり、単なる訓練にとどまらず、行政や企業と連携した実践的な防災イベントを組み合わせ実施している。大学キャンパスは災害時に地域の一時避難場所となる存在であり、地域とともに防災力を高

めることが大学の社会的責務であると考えている。

一方で、課題も少なくない。訓練が「訓練のための訓練」にならないよう、参加者一人ひとりが自ら考え行動する意識を醸成する必要がある。また、一度定めたマニュアルを固定化するのではなく、実施結果を不断に検証し、時代や環境の変化に即して見直し続ける姿勢が求められる。

大学におけるリスクマネジメントとは、単なる危機回避策ではない。教育・研究活動を守り、構成員の生命と安全を確保し、地域社会との信頼関係を強化するための基盤である。関西大学はこれからも、「安全・安心」を大学運営の根幹に据え、持続可能な危機管理体制の構築に取り組んでいきたい。



【例会ご案内】

2月27日(金)《第3例会》
「ビジネスリーダーのための外見戦略とスキンケア」
資生堂ジャパン株式会社
ヘア&メーキャップアーティスト(HMA)
新城輝昌氏
担当：花川京子会員

3月6日(金)《第1例会》
新入会員自己紹介
(西井康二会員・中林孝仁会員)
担当：会員増強・情報集会委員会

3月13日(金)《第2例会》
担当：青少年奉仕委員会・社会奉仕委員会

3月20日(金・祝)
休会

3月27日(金)《第3例会》
担当：中川祥平会員

【同好会】

書道同好会

2月27日(金)・3月6日(金)・27日(金)
午後2時～ 於：奈良県薬業会館

【RAC例会】

[橿原オークホテルにて、午後7時30分～9時]

3月15日(日)《第1例会》
奈良ゾーン合同例会

3月24日(火)《第2例会》
オリジナル例会③

※卓話資料はデータでの提出をお願い致します。

MEMO